



まちに広がり農業の輪

4Hクラブ

知名町農業青年クラブ

次代を担う青年農業者たち



4Hクラブの4つのH

4Hクラブは、実践を通じて自らを磨くとともに、お互いに力を合わせて、よりよい農村、よりよいまちを創るため4つの信条を掲げています。

- 1 私たちは農業の改良と生活の改善に役立つ**腕 (Hands)**を磨きます。
- 2 私たちは科学的に物を考える事のできる**頭 (Head)**の訓練をします。
- 3 私たちは誠実で友情に富む**心 (Heart)**を培います。
- 4 私たちは楽しく暮らし元気で働くための**健康 (Health)**を増進します。

農業の担い手不足が深刻化するなか、農業に「夢」を抱き、将来の知名町の農業を支える30代後半までの若い農業者が中心となっている組織があります。そう、知名町農業青年クラブ（以下、4Hクラブ）です。本町の4Hクラブには、現在20名のクラブ員があり、農業経営をしていくうえで身近な課題の解決方法の検討や、より良い技術を検討するためのプロジェクト事業を中心に活動しています。そのほか、農業関係のイベントや各種ボランティア作業などの地域活動への参加も積極的に行っています。

今月は、次代を担う農業青年者たち「4Hクラブ」の活動等について紹介します。



農業経営技術の習得・向上

次代を担う農業者になるためには、農業経営技術の習得・向上への取り組みは欠かせません。4Hクラブでは、クラブ員それぞれが課題解決能力の向上や経営改善ができる力を身につけるために、個人でプロジェクトに取り組んでいます。

また、県沖永良部事務所農業普及課が行う基礎講座や花き、畜産など部門毎の技術研修にも参加しています。さらに、毎年、全クラブ員で一つ共通のプロジェクト（次ページに掲載）を実施しており、これらの活動を通して農業経営技術の習得・向上を図っています。



地域活動への参加

子どもたちに農業を身近に感じてもらうため、食の文化祭やバレイショまつりで、ゲームやクイズ等のイベント行ったり、野菜の収穫体験を行ったりするなど、魅力ある農業について啓発しています。

また、自分たちで育てた花を学校や沿道に植えるなど、ボランティア活動も積極的に行い、地域活動への参加を充実させています。

そのほか、和泊町4Hクラブとの交流や夏、冬には異業種交流会（スポーツ大会）を開催するなど、農業以外の活動も盛んに行っています。

